

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/01/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 短期需給ひっ迫感で一時80ドル回復

NY原油先物相場は、1バレル=79ドル水準まで値上がりする展開になった。短期需給ひっ迫感から上値追いの展開が続き、1月7日高値は80.47ドルに達しており、昨年11月17日以来の高値を更新している。北半球の寒波で需要が底固く推移する一方、リビアやカザフスタンで供給障害が発生したことで、期近限月に対してプレミアムを加算する形で値上がりが進んだ。

1月4日には石油輸出国機構 (OPEC) プラスの閣僚級会合が開催されたが、イベントリスクを無難に消化したこともポジティブ材料視されている。1月に続いて2月も日量40万バレルの増産を行うことが合意された。概ね市場の予想通りの結果になったが、OPECプラスが1~3月期の供給過剰リスクを認識しつつも、緩やかな増産対応が可能との立場を示したことが、マーケットに安堵感をもたらしている。米国がこうした決定を歓迎する声明を出し、産油国と消費国との対立に一服感がみられることもポジティブ。なお、次回会合は2月2日に予定されている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (12月31日時点) は、原油が前週比214万バレル減、ガソリンが1,013万バレル増、石油精製品が442万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 短期目線で先高感維持、ただし寒波と供給障害の解消には要注意

短期需給のひっ迫感が強く、底固い展開が続き易い。1)

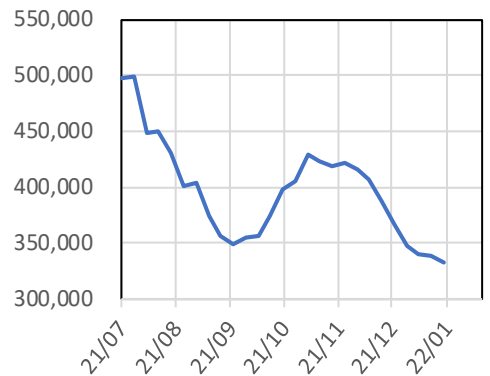
「オミクロン」の原油需要に対する影響は限定的との見方、2) 寒波による需要拡大、3) 天然ガス価格の高止まり、4) リビアとカザフスタンの供給障害、5) 米原油在庫の減少傾向などが、原油相場を押し上げるトレンドが形成されている。1月7日時点では、3月限に対して2月限には0.46ドルのプレミアムが加算されている。

北半球では日本も含めて厳しい寒波が報告されており、暖房用エネルギー需要が押し上げられ易い環境にある。短期予報だと1月末にかけて寒波が続く見通しであり、良好な需要環境が維持されると、原油相場は80ドル台定着から一段高が打診されよう。

一方、年明け後はリビア東部でパイプラインの破損が報告されている。昨年12月には東西勢力の対立で西部油田からの供給量が落ち込んだが、新たな供給障害の発生で7日時点では合計で日量50万バレル規模の減産が報告されている。また、カザフスタンでは燃料価格引き上げに対する抗議デモが暴動に発展しており、原油生産に対する影響が報告されている。こうした供給障害が長期化すると、原油相場の堅調地合は維持されよう。

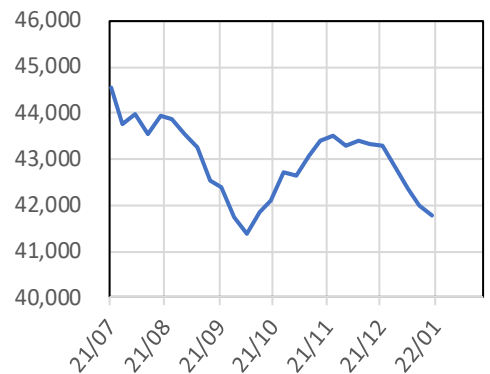
ただ、マクロ環境としては供給「不足」から供給「過剰」への転換期であり、寒波が終息し、各種供給障害が解消されれば、地合が急激に悪化するリスクを抱えていることに注意が求められる。短期目線での上昇圧力の有無の視点に留まり易い。また、米早期利上げ観測で投資環境の不確実性が増していること、「オミクロン」の感染拡大が続いていることも警戒しておきたい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



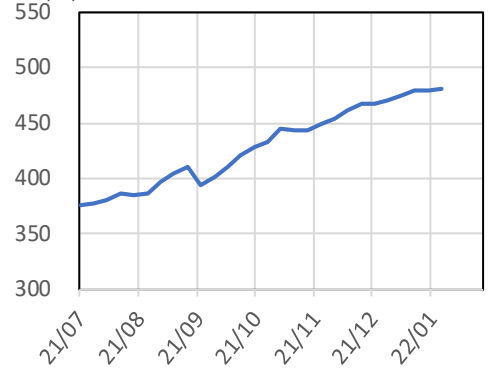
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

